

# 「第31期パワフル AOMORI ! 創造塾」

第2回 令和元年8月17日・18日



## 知事の特別講義「『選ばれる青森』へチャレンジ!!」と塾生とのフリートーク

第2回講座の幕開けは、恒例となった知事による特別講義でした。三村知事には、「『選ばれる青森』へチャレンジ!!」と題し、青森県の現状、これまで改善してきたことやこれから取り組んでいくことについて熱く語っていただきました。塾生からは、「青森県の現状について改めて学ぶことができた。」「自分が行おうとしている

ことと青森県の取り組もうとしていることが同じ方向を向いているので、頑張ろうと思った。」などの感想がありました。また、フリートークでは、塾生一人一人がこれから取り組みたいと思っていることを発表しました。知事からはその全ての発表について御意見やアドバイスをいただきました。自分のアツいオモイを受け止めてもらったことで、塾生は決意を新たにすることができました。



## 事例紹介「地域づくりの現場のまっただ中で」

次は、八戸市で活動している市民集団「まちぐみ」組長 山本 耕一郎氏による事例紹介です。八戸市に移住する以前の活動から今日に至るまで、山本組長がどのような活動を行ってきたのか、そして、現在まちぐみはどのような活動に向かっているのか、ということ、ユーモアを交えながら紹介していただきました。「なんか面白い」「ゆるく」をキーワードに作られている活動の場が大変穏やかで、組員たちにとって安心できる居場所となっていること、組長が仕掛けたことが組員の自発的・自主的な活動へと広がっていること、そして、八戸の様々な企業も巻き込んだ大きな動きになっていったことなど、非常に興味深い内容でした。「活動はきっちり計画を立てて進めなければならない。」と考えていた塾生たちにとっては、目から鱗が落ちる思いでした。塾生の感想には「縛りなどがなく、組織を運営しているので、凄いと感じました。」「根底には楽しみながら活動を続けることで、反応・共感が起こる」などとありました。



## 演習「自分を表現する指針を育む」

演習は合同会社ファミリーコンパス共同代表 渋谷 聡子氏を講師・ファシリテーターとしてお迎えし、共生社会に向けた、自他との向き合い方を学びました。自分の中にある「～するべきである」を見直すこと、これからの社会では周囲に適合するだけでなく創造していくことが必要であること、正しい生き方から自分らしい生き方へ変えていく時代であること、自分の感情の奥底にあって満たしたい「ニーズ」を探ること、他人のニーズを探ること、不毛な対立ではなく納得できる結論を導けること等々、次から次へと渋谷さんから繰り出される数々の思考法や教授される沢山の知識に圧倒されながら、塾生たちが「我が意を得たり」という表情に変化していったのがとても印象的でした。塾生の感想には、「自分の中身をのぞかれているように感じ、非常に有意義な時間でした。行動あるのみだと実感しました。」「自分らしさは、その奥にあるニーズを自分で受け止めてあげること。自己と他者との関係の中で、どちらのニーズもそれぞれが受け止めることで、相互の満たされなさを解消できる。共感し合うことでお互いの自分らしさを尊重した関係となり、より関係性が深まる。」などとありました。



## 今後の予定について

第3回講座では、特定非営利活動法人 ezorock の代表理事 草野 竹史氏をお迎えして『オモイ』をみがき、『カタチ』にしていくことを目指します。そして第4回講座は、「地域活動や実践活動をカタチにした『オモイ』を発表する会」となります。これまで学んだこと、これから学ぶことを通じ、楽しみながら地域づくり活動を行っていく塾生たちの活躍にご期待ください。